



幼稚園だより

令和2年度
5月号

令和2年5月1日
文京区立湯島幼稚園

感じる心を大切に

園長 前田 宏子

園庭のハナミズキがきれいに咲いています。新緑の季節となりました。気持ちのよい風が吹き、外遊びも楽しくなってくる時期です。

緊急事態宣言が延長され、幼稚園も休園措置も延長となりました。外出自粛のため、外で過ごす時間が制限されたり、自由に行き来が出来なくなったりして大変な思いをされていることと思います。

幼稚園が始まるその日に向けて、楽しみに待っていただけたらと思います。幼稚園のホームページにもいくつかご家庭でできる遊びを掲載しております。一緒に遊ぶひと時を楽しんでいただけると嬉しいです。

幼稚園ってどんなところ？と知っている人やどんなところだったっけ？と知っている人もいるでしょうか。今、幼稚園は緑がきれいです。サヤエンドウやソラマメの花が咲き、おいしそうな実もできています。また、皆さんが幼稚園に来たら、これから大きく生長していく野菜や花の苗と一緒に育てたいと思います。実際に手で触ったり、においを嗅いでみたり、葉の色をよく見てみたり、と直接体験をすることを幼稚園では大切にしていきます。もちろん、栽培活動だけではなく、様々な活動を「知っている」だけではなく、「感じる」経験をしていきたいと思っています。



湯島幼稚園の教育目標は

○よく遊ぶ子ども ○やさしい子ども ○考える子ども です。

今年度は「よく遊ぶ子ども」を重点目標として、保育を行っていきます。

よく遊ぶためにはよく感じる心が大切です。こんなことが嬉しい、こんなことが悲しい、こんなことが面白い、などいろいろな思いを感じる心を耕していきましょう。耕すためには柔らかくしておくことも大切です。感じたことを言葉にできるともっと素敵ですね。大人も子どもも、こんな時期だからこそ、感じる心を大切にしていきたいと思います。